



2024年5月8日

各位

会社名 株式会社データホライズン

代表者名 代表取締役社長 内海 良夫

(コード番号：3628 東証グロース)

問合せ先 常務執行役員管理本部長 内藤 慎一郎

(TEL 082 - 279 - 5525)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、最近の業績動向を踏まえ、2024年2月7日に公表した2024年6月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2024年6月期 通期連結業績予想数値の修正 (2023年7月1日~2024年6月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,300	百万円 0	百万円 30	百万円 20	円 銭 1.58
今回修正予想 (B)	4,900	△900	△880	△910	△71.82
増減額 (B-A)	△1,400	△900	△910	△930	
増減率 (%)	△22.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年6月期)	4,410	△498	△599	△664	△53.33

(2) 修正の理由

当連結会計年度における連結売上高の通期予想は前回発表の63億円から14億円下回る49億円となる見通しです。前回予想との主な差分は、データヘルス関連サービスが4億円、データ利活用関連サービス他が10億円となります。

データヘルス関連サービスは、本年4月からの第3期データヘルス計画開始に向け、第3期データヘルス計画作成支援業務の大量受注により前期に比べて大幅に増加する見通しである一方で、第4四半期に計上する見込みであった2024年度事業の通常の受注の進行には時間を要しております。この結果、データヘルス関連サービスの売上高は、前回予想を下回る見込みとなりました。また、データ利活用関連サービスの売上高は、当社ソリューションへの引き合いが強く、

前期を上回る見込みです。しかしながら、規模の大きな一部取引の受注には想定よりも時間を要しており、前回予想を下回る見込みです。

損益面においては、中期的な事業拡大のための投資は継続したことと、上記の売上見通しの修正も影響し、9億円の営業損失となる見通しです。また、経常損失は8億80百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は9億10百万円と見込んでおります。

なお、当社グループの収益力を図る客観的な指標としている EBITDA (注) は、1億70百万円のマイナス (前連結会計年度は44百万円のプラス) と見込んでおります。

(注) E B I T D A = 経常利益 + 金融費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + M&A に関連して発生した一時の費用

(注) 本資料に記載の予想数値は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上